

2008年2月5日
東日本旅客鉄道株式会社
ジェイアール東日本商業開発株式会社

JR 蒲田駅が生まれ変わります

～「GRANDUO(グランデュオ)蒲田」が2008年4月16日(水)開業～

JR東日本では、2007年5月より使いやすく快適な駅を目指して蒲田駅の改良を進めてまいりました。同時に全面リニューアルを進めてきた、駅ビル旧「パリオ」、旧「サンカマタ」を「GRANDUO(グランデュオ)蒲田」として4月16日に開業します。

新しい「びゅうプラザ」や、バリアフリー設備の整備を進めてきた蒲田駅が、コンコース内装リニューアルや吹抜け空間の創出により、清潔感、開放感のある明るい駅空間になります。

駅改良にあわせ、駅ビルについても都会的な感性を持ったファッションナブルな商業施設に生まれ変わります。

開放感あふれる快適な移動空間が創出されるとともに、駅と駅ビルが一体となり駅コンコースに面して、新たなエキナカストリートが誕生します。

1. 駅改良について

(1) 使いやすく、快適な駅へリニューアル

自動改札機の配置を見直し、中央改札付近の混雑緩和を図りました。

(2008年1月使用開始)

お客さまのご利用実態を踏まえて、快適なトイレにリニューアルしました。

(2007年12月使用開始)

コンコース天井の一部を吹抜け空間とし、開放感のある明るい駅空間になります。

コンコース内装をリニューアルし、清潔感のある明るい空間になります。

案内サインと広告との再配置を行い、お客さまにわかりやすい駅になります。

異常時案内用ディスプレイを改札内外に整備するほか、改札口にLED発車時刻案内を整備するなど、お客さまへの運行情報提供の充実を図ります。

分散していた駅施設及び店舗を集約し、使いやすくします。

(2) 新しい「びゅうプラザ」

ご旅行相談を承る「旅行カウンター」(これまでの「びゅうプラザ」)と、急いでいるお客さまへのきっぷの発売に便利な「みどりの窓口」「指定券発売機」をひとつの店舗内に配置した、新しい「びゅうプラザ」になりました。(2007年12月使用開始)

(3) バリアフリー設備の整備

バリアフリー設備の整備として、大田区の協力により、東口・西口駅前広場から改札階をつなぐエレベーター(東西各1基)が整備され、お客さまの利便性が向上しました。(2007年7月使用開始)

2. 駅ビルのリニューアルについて

(1) 駅ビル概要

- 【店舗名称】 「グランデュオ蒲田」 東館 / 西館
- 【開発運営】 ジェイアール東日本商業開発株式会社
- 【所在地】 (東館)東京都大田区蒲田5-13-1
(西館)東京都大田区西蒲田7-68-1
- 【売場面積】 約19,000㎡
(東館 約6,800㎡ / 西館 約11,800㎡ / コンコース店舗 約400㎡)
- 【店舗数】 約250店舗(東館 83店 / 西館 157店 / コンコース店舗 10店)予定
- 【売上目標】 約240億円(年間)

(2) 基本コンセプト

ストアコンセプト

「ちょっと上質な毎日の生活を、2つの館で応援する “回遊型コミュニティ百貨店”」

「グランデュオ蒲田」は蒲田商圈の地域特性を踏まえ、対象顧客層として、東館は主にシングルから子育て世代までの団塊ジュニア層を中心とした20代後半から30代を、西館は若々しい感覚を持つ40代から団塊世代までの大人の世代を中心に捉えます。駅という立地特性を活かし、食品、ファッション、雑貨、サービスの各分野において、東館、西館の両館でそれぞれの商圈に合わせた幅広い商品展開を行います。

主なフロア構成

西館			東館	
R	スポーツ施設		R	サービス
9F	サービス		6F	レストラン・書籍
8F	サービス		5F	ファッション
7F	レストラン		4F	ファッション
6F	書籍・文化雑貨		3F	ファッション
5F	リビング洋品・生活雑貨		2F	ファッション
4F	ファッション	連絡通路	1F	食品 (菓子・ﾊﾞｰｶﾘｰ・ﾌﾞﾗｯｽﾀｰﾄﾞ等)
3F	ファッション	コンコース	B1	食品(生鮮・惣菜・ｸﾞﾛｯｻﾘｰ)
2F	ファッション			
M2	サービス			
1F	食品(菓子・ﾊﾞｰｶﾘｰ)			
B1	食品(生鮮・惣菜・ｸﾞﾛｯｻﾘｰ)			

空間デザインコンセプト

「光あふれる、ライフシーンのクロスオーバー」

駅コンコースをはさむ「グランデュオ蒲田」の両館のエントランスと連絡通路が、明るく開放的に生まれ変わることによって、吹き抜け空間が設置された駅と一体となった、居心地のよい全体環境が創出されます。

駅空間と一体となった透明感あふれるエントランスデザイン

東西両館ともエントランス空間は駅舎コンコース環境と共通性を持たせ、相互に空間スケールの相乗効果を発揮させるデザインといたします。東西両館をつなぐ連絡通路全体が透明感あふれる壁となり明るい環境を創出いたします。

東西両館を効果的に結合させる売場デザイン

館内では両館のショッピングシーンが連絡通路を通じて自然に溶け合い、売場に展開される様々な商品がお客さまにわかりやすく、また美しく引き立つように、共通のデザイン計画といたします。

3. 環境・バリアフリーへの取り組み

従来は、蒲田駅コンコースと東館、および東西両館の連絡通路間の2箇所に段差が生じておりましたが、それを解消すべく、スロープを東館の2Fと3Fに設置し、東西館の行き来をしやすくしたほか、東館、西館に多目的トイレを合計3箇所設置いたしました。

また、環境に配慮し東西両館に生ゴミ処理機を導入し、館内で発生する生ゴミ量の減量に努めます。

< 参考 >

【蒲田駅・駅ビルの沿革】

- 1904年 4月 蒲田駅開業(2006年度乗車人員 約13万人/日)
- 1961年 2月 蒲田振興株式会社設立
- 1962年 12月 パリオ開業
- 1970年 4月 サンカマタ開業
- 1991年 12月 蒲田ステーションビル株式会社に社名変更
- 2007年 4月 ジェイアール東日本商業開発株式会社と合併

【グランデュオとは】

グランデュオとは、1999年4月にJR東日本と阪急百貨店が提携して開発した、フレキシブルなMD展開ができる百貨店スタイルを取り入れた新しい商業施設の名称。このたびの蒲田店は、立川店に続く2店目となる。

グランデュオ立川

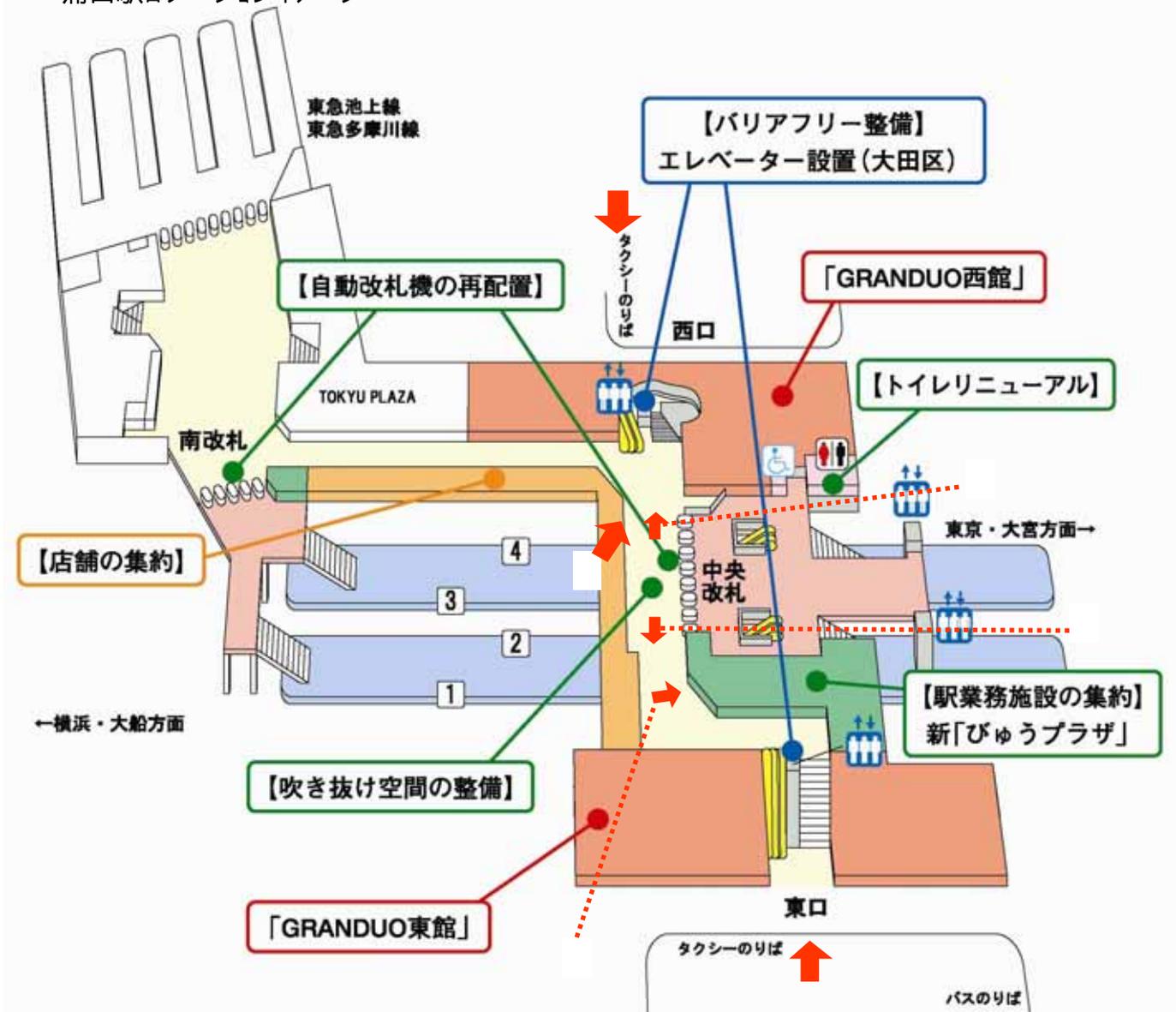
- ・所在地 東京都立川市柴崎町三丁目2番1号
- ・売場面積 約18,000㎡
- ・店舗数 195店舗
- ・売上実績 約210億円(2006年度)

【ジェイアール東日本商業開発(株)の概要】

- ・社名 ジェイアール東日本商業開発株式会社
- ・会社設立 1997年4月1日
- ・資本金 1,140百万円
- ・本社所在地 東京都立川市柴崎町三丁目2番1号
- ・代表取締役社長 大塚 隆史

【参考】

蒲田駅ロケーションイメージ



南改札周辺の整備は2008年春以降も引き続き工事を行ってまいります。

©KOTSUSHINBUNSHA 2008.

グランデュオのネーミングの由来

ネーミングの由来

♪ すてきな二重奏 ♪

GRAND 英語：素敵な
+
DUO 独語：二重奏

- お客様 と 私達 で創る店
- 駅ビル と 百貨店 の複合業態
- 地域 と お店 の共存共栄



ジョイフルエッグ

タマゴを2つのパーツに組み合わせることにより、「GRANDUO」ネーミングの背景である「2つの個性がひとつになって、もっと楽しい個性に育てて行く」という願いと理想を表現しています。

コンコースおよび新しい「びゅうプラザ」のイメージ



(2007年12月17日(月)開業)

コンコースおよびグランデュオ東館メインエントランス周辺イメージ



吹き抜けにより開放感のある明るい駅空間とグランデュオ蒲田東西両館をつなぐ連絡通路



新しくなった中央改札およびグランデュオ西館メインエントランス周辺イメージ



グランデュオ西館外観イメージ



グランデュオ東館外観イメージ

